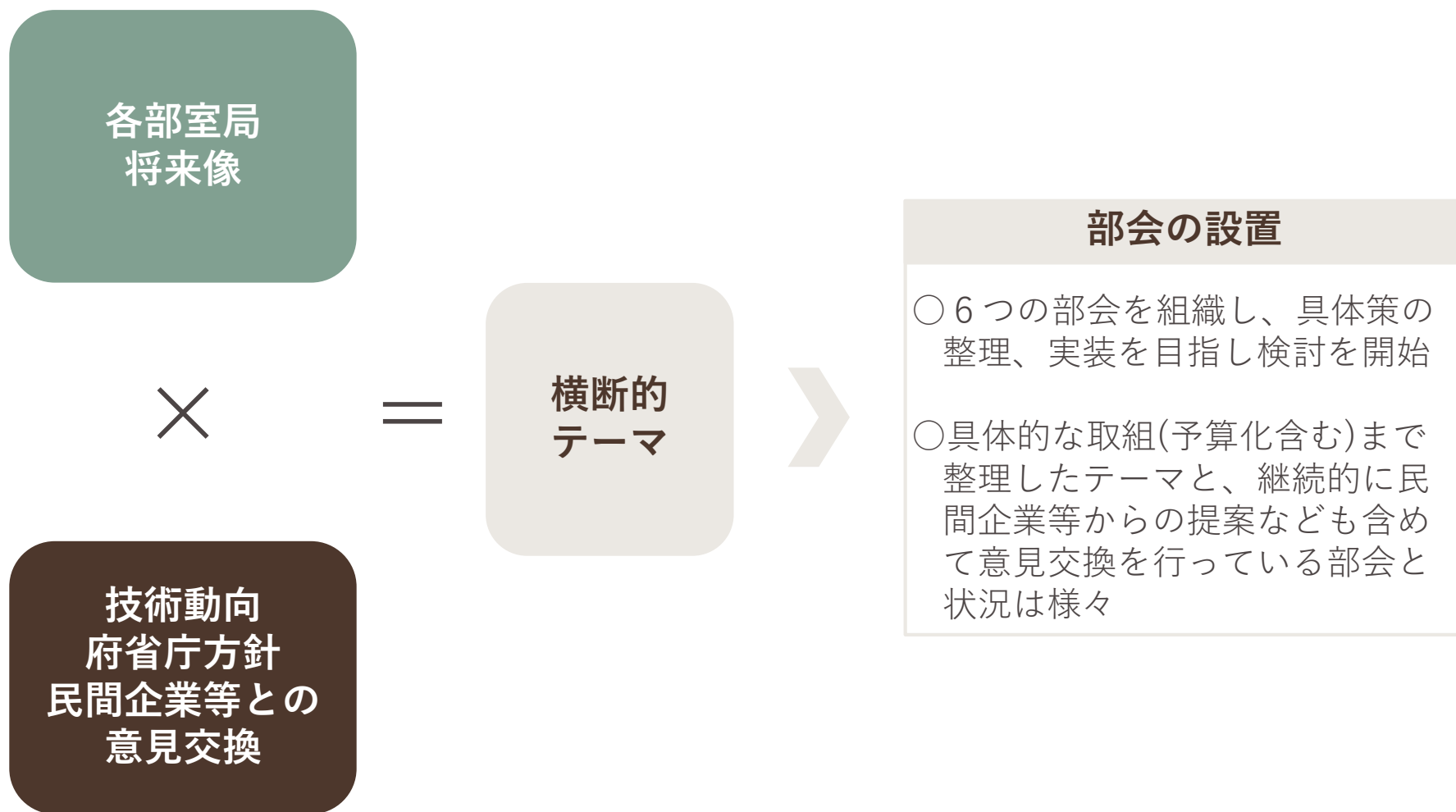


# 【資料4】 DX推進に関する部会について

---

デジタル化推進本部事務局  
(総務部 情報戦略課)



- 各部室局の将来像と技術動向や府省庁の考え方などを掛け合わせて6つの部会を設置して議論を進めてきた。
- このような議論・手法を行ってきた意図は、単独では解決できない課題、進まない取組を加速させること
- また、必要となる予算を確保するために検討熟度をあげるために実施してきた。

## 成果

- ・ 部室局の垣根を越えて、1つの目標・目指す姿の構築に向けて具体的かつ前向きな議論をかさねることができた。
- ・ お互いの知識なども共有することで、新しいアイデアなどを生み出すことができた。
- ・ 1つの目標・目指す姿の実現に向けてそれぞれが感じている・抱えている課題を共有しながら、共通認識を図ることができた。

## 反省

- ・ 部会としての最終目的が曖昧な点があった。課題に対するアイデア出しまでが役割なのか、アイデアを踏まえて実行フェーズに移行していくことも含めて、部会として担うのか否かについて部会によって認識の差があった。
- ・ 議論を開始してきた時期が夏であったことから予算化を意識した際に時間が短すぎた。
- ・ 部会として検討した内容を、本部会議でどう結論づけ、次の段階へ移行するかが曖昧な点があった。

### <部会としてのゴールの明確化>

- 部会としての結論をどこまでまとめるかを明確にしたうえで議論を重ねていく。
- 当然のことではあるが、再度、この点については改めて部会毎にゴールを明確化することに留意(今後、新たに設置する部会も含む)。

### <予算、国庫補助活用等を意識した議論>

- 庁内の予算要求が、情報システム導入計画書の検討を考慮して8月からスタートすることを念頭に、遅くとも10月には部会として予算整理ができる運営を行う。

### <部会メンバー・構成員の職位に関して>

- 今年度の議論を振り返る中で、具体策を議論する際には担当者の意見なども踏まえた整理が必須となる。
- 今年度の部会設置においては情報戦略課にて構成案を整理してきたが、今後はテーマを踏まえて根幹部分はある程度、素案整理するもののメンバー検討については各部局・各課の手上げも含めた方法もいいのではないか。

### <新部会の設置に関して>

- 更新版の将来像・ロードマップなどを踏まえて、4月当初に新たに設置が必要と思われる部会案を整理し、令和5年度第1回デジタル化推進本部会議(4月中を想定)にて提案。
- 5月から議論を開始を想定。
  - ⇒(庁外)6月：政府骨太等方針、8月：府省庁概算要求を確認することが可能となる。
  - ⇒(庁内)7月：導入計画書、9～10月：予算要求につなげていくことが可能となる。

## 業務改革部会

- 参考資料1に示す目指す姿の実現に向けた調査を情報システム課と連携して行う。
- この調査内容について、業務改革部会にて議論・検討を行い、令和6年度以降の取組の具体化・ロードマップ等を整理する。

## マイナンバー部会

- 令和4年度に行った民間企業とのヒアリングを踏まえて、具体的なサービスでの活用などを整理・検討する。
- デジタル庁においてもマイナンバーに関しては様々なサービスがリリースされている状況も踏まえて検討を進める。

## 窓口改革 ワーキンググループ (旧スマート窓口部会)

- 令和4年度に行った市民窓口調査を踏まえ、「市民部・福祉部・こども・若者部」を対象として、窓口改革の実現に向けて具体化検討を行う。
- デジタル技術の活用だけでなく、業務の見直しも含めて検討を行う。

## (仮)デジタルデバイドに 関する検討チーム (旧：デジタルデバイド部会)

- 令和4年度にデジタルデバイド部会にてとりまとめて取組に基づいて、各種取組の具体化について検討を行う。
- 特に、デジタル機器の利活用に関する講習会等の実施について、民間企業とも意見交換を行いながら今後の展開について整理する。

## 標準化検討部会

- 自治体システム標準化に関する検討を継続して実施。

## LINE活用 タスクフォース

- 令和4年度よりLINE活用の拡充について検討を開始。
- 今年度行う取組等も踏まえて、適宜、タスクフォースを開催予定

## フリーアドレス検討部会

- 庁舎のフリーアドレス化を始め働き方改革に向けた議論を令和4年度末より開始。当部会は、事務改善委員会傘下に設置。
- 働き方改革に関しては、DXやBPRとも関連することが多いため、デジタル化推進本部会議でも情報共有しながら検討を進めていく。

### <部会運営に関する考え方>

○以下の2つの考え方で部会等、横断的な検討組織の設置

【考え方①】 令和4年度から継続的に検討が必要な重要テーマの検討

【考え方②】 事務局として新たに全庁的に影響を及ぼすテーマの検討

#### 【考え方①】

○P4に記載の部会等を継続的に運営

#### 【考え方②】

### (仮) 市民ポータル検討部会

- 令和4年度第8回デジタル化推進本部会議にて提示した「市民ポータル」について、今後の方向性・方針、具体化等について議論を進める。
- オンライン申請における入口の分かりやすさ、自分が申請や届出を行った事項の進捗確認など、具体化の検討を行う。
- 事務局：情報戦略課(予定)

○これ以外に各部室局からの横断的に議論が必要なテーマ等がございましたら、本部会議等の場を通じて本部員の皆様よりご提案お願いします。

## 4 チャレンジ取組について

- 全庁から約800のチャレンジ取組が挙げられました。
- これについて、情報戦略課にて大分類・小分類で取組をフィルタリングしました。
- 現在、これらのフィルタリングを踏まえて各種取組を分析しております。その中で、DXで解決できそうな取組や課題について整理を進めております。
- 分析等を踏まえて、設置済の部会での論点とさせていただく場合があります。意図としては、設置済の部会で解決できる可能性のある取組もあるためです。
- また、外部(民間企業)との連携で実現できそうな内容については、当課が実施している官民連携の仕組等を活用し、取組の実現に向けた議論の相談をさせていただく場合があります。
- いずれも、各課での検討を止めるものではありませんので、継続的にご検討いただければと思います。
- チャレンジ取組に関して、庁内横断的な課題となる項目などについて関係課による部会や若手検討チーム等を設置することも検討中です。
- チャレンジ取組の中で、DXに関する取組等で当課との意見交換等をご希望される場合は、当課まで連絡いただければと思います。